

## 白井第二小学校区まちづくり協議会設立準備会第8回会議事録（概要）

日時：令和3年10月23日（土）午後6時30分から

場所：公民センターレクホール

出席者：小林正継会長、染谷敏夫副会長、小松正信副会長、山本敏伸事務局長、渡辺康夫広報、永井英明書記、川上利一書記、山崎正司（中）、酒井正男（中峠団地）川鍋敏夫（折立）森山光男（富塚）山本忠昭（白井工業団地）岡田純一（今井）山崎嘉秋（名内）山崎一之（平塚東）大井信幸（平塚西）小林清隆（高齢者クラブつくし会）伊藤忠昭（第二小）赤瀬幸子（おはなしの玉手箱）富澤好由・滝田潔・山崎洋子（まちづくりプロジェクト）海老原進（体験農園）

岡田部長、市民活動支援課松岡課長、高橋、公民センター折山副センター長、中島、金井

欠席：福田孝一（民生員）川上達也（青少年相談員）滝田潔（まちづくりプロジェクト）

傍聴：平田新子

資料：①会議次第 ②まちづくりの将来像と基本方針・計画の体系イメージ（例）③協議会設立準備会構成団体④具体的な取り組み⑤協議会会則案⑥協議会組織のイメージ⑦みんなでまちづくりを楽しもう チラシ・FAX送信票各10部

小林会長挨拶

・準備会で内容を決めPRしていこうとなった。本日は今後の体制について山本事務局長より提案しご意見をいただきたい。

議題1 基本方針について 資料②により説明

・基本方針については、初めて目にすると思う。

・将来像は、以前決めている。前回事業の選択を行った。本来は基本方針を先に定めてからやるのが趣旨であるが、より分かりやすくするため、事業を先に検討し、どういことをやるのかを踏まえて方針案を作成した。

・基本方針は、分野ごとの目標や方針を定めるもので、分野を4つに分けている。

・1は「安心安全なまちづくり」で内容は交通安全、防犯防災の事業を行い安心安全に暮らせる街を目指す。

担当する部会として「安心安全部会」を作る。

・2は「美しい景観と伝統文化を大切にすまちづくり」で内容は、ごみの減量・資源化、景観の保全・環境美化、伝統文化の継承を行うことにより、魅力ある地域を目指す。

担当する部会として「環境文化部会」を作る。

・3は「みんなが交流し、助け合うまちづくり」 内容について

一部修正「支え 合う福祉の事業を行うことにより・・・」

「支え助け合う ことにより・・・」

内容は、住民同士の交流、外国人との共生、支え助け合うことにより温かさが感じられる地域を目指す。

担当する部会として「交流福祉部会」を作る。

・4は、「地域を元気にすまちづくり」

一部修正 「地域の活性化の 活動と・・・」

「地域の活性化に向けた活動と・・・」

内容は、地域の活性化に向けた活動と開かれた組織運営により元気な地域を目指す。

担当する部会として「総務広報部会」を作る。

質疑・意見 なし

・この方針により進めていくことについて了承された。

2. 推進体制について

・資料③により、担当部会の構成について協議

・具体的な取り組みをだれがやるのか確認していきたい。自治連など団体名が入るのではなく個人が進める形になるので皆さんやっていることを確認したい。

●安心安全部会

●環境・文化部会

●交流・福祉部会

●総務・広報部会

・自治連支部

・環境塾

・民生児童委員

・まちづくりプロジェクト

・地区消防団

・自治連支部

・地区社協

・まちづくりプロジェクト

・体験農園

・青少年相談員

・工業団地協議会

・中つくし会

・PTA・中つくし会

・PTA

・二小

・工業団地協議会

・おはなしのたまてばこ

・まちづくりプロジェクト

・自治連支部



いう話があったが、会長がいろいろなところに出ているが、副会長だけ集めて同じ話をする会議や43軒で3班あるが、班長も集めてやるなども必要  
会長だけ集めてやるのも限界がある。横の関係で人を集めてもらい同じ内容をやっていくと浸透していくのではないかと思う。

- ・とくにない。
  - ・いろいろ相談してやりたいと思う。何人か昼間掃除をしている方がいて頭が下がる思い。今月30日に富塚でごみゼロをやる準備をしている。きれいになると気分もよくなる。山林が多くそこにごみが捨てられているそれをきれいにしたい。
  - ・ここで分かっても次の区長には0からやらないと伝わらない。もう少し簡単にしたものを出してほしい。そういうものがあると引継ぎがしやすい。急ぎすぎているような気がする。
  - ・昨年は区長代理も1回来たが、これを全部次の区長に伝えるのは難しい。会議に区長代理も一緒に出てもらえるようにしてほしい。
  - ・質問 全体会は12月で終わるが、今後どのように進めていくのか。部会ごとにやるのか、その辺が見えないので伺いたい。
- A 取り組む事業を各部会で話し合っ進めるが、今年度は1月から3月までしかない。
- ・それを中心に話し合った方が良いのか、次年度は部会を中心に進めるのでお願いしたいというような説明しかできない。
  - ・4月から変わるので今の区長からの説明だけでは難しいので、次期区長にも周知してほしい。
  - ・1年で任期が終わるので一緒に出てもらえるように伝える。
  - ・皆さんと思っているところは同じ。ここ3カ月で話が進んでいってついていけない。今までのことを説明できない。次に伝える手段を考えてほしい。
  - ・福祉だけでなく、環境整備、空き缶拾いなど常にやるように心がけたい。お囃子保存もつくし会でやっているの、テーマ・伝統文化に力を入れてやっていきたい。
  - ・団体でなく、1人でできているため大変かなと思う。  
二小区にどれくらいうまく浸透させられるかが課題。上の方だけで動いているのでは意味がない。
  - ・小学校では地区社協も交流している。祭りなどにも協力していきたい。
  - ・環境塾は熱心にやっていただいている。伝える人によって違ってしまふといけなないので共通理解を図ることが必要。  
今後も二小の子どもたちのためにできることをやっていきたい。
  - ・4部会あるが各部会何名ぐらい必要か具体的な数を出さないと引継ぎで部会員をやってもらうのか引き続きやっていただくのか。継続性が失われるようではうまく機能しないので興味のある人にはどんどん協力してほしい。
  - ・もっともな意見。そういう形で進めていきたい。
  - ・ほっこり市、まんぷく広場に参加しており、ここに入っている。  
生まれ育ったところなので協力していきたい。
  - ・継続性の話が出ているが、区長は1年で交代するところが多いが、まち協は1年で交代してしまうのではなく、現区長が区長退任後1年継続し次の区長にうまく引き継いでから交代するようにする等すればうまく継続していけるのではないか。
  - ・自治会長という立場で来ている。地区で集まる機会があるが、コロナでできていない。そういう場で周知できればよいができていない。
  - ・工業団地は地域の皆さんと交流、事業所への理解をいただいている。学区のほぼ中央にある。皆さんにご迷惑をおかけしている部分があるのでこういう活動を通じてご理解をいただきたい。交通安全、夏祭りの開催、地域の環境を守るこれも1つの大きなテーマとしているので皆さんと地域をよりよくしていけるように力を使いたい。  
まち協については、当たり前事業でも何度も繰り返すことが大事。5年10年たつて伝わっていくことにより地域にあって当たり前の組織になるように発展してほしい。

#### 市職員より

- ・皆さんの意見は本音の部分が出ていたと思う。各小学校区で進めていきたいということを考えており、みなさんの不安を取り除けるようにしたい。
- ・人と人の力を合わせることに尽きる。1人1人に声をかけ事業を広げていく。残ってやっていけるような機運を作りたい。
- ・まち協を作るということで公民センターに来たが、いよいよというところに来た。
- ・住民主体のまちづくりは行政の方でも一緒に進めていきたい。
- ・4月に公民センターに来た皆さんと一緒に協議会の仕事を一生懸命やっていきたい。
- ・市民活動支援課で二小区担当として出席している。各区長も仕事が大変と思うが各小学校区で立ち上げるので支援しながら、協力していきます。

#### 会長

- ・3月で教育委員を退任した。その時はまちづくりという考えはなかったが、教育委員の時に二小が大変、地区が廃校にならないようにしてほしいということ伝えた。4年前市内どこからでも通学できるよう小規模特任校になった。
- ・二小になかった学童保育もスタートした。

- ・まち協はそういう背景のある組織。個人ではできないこともできるのではないか。こういう組織があれば、みんなで協力してできるのではないか。そこで声を上げれば通じる。予算の付くものもある。
- ・既にボランティアなどの活動も行われている  
1人でできなくても何人か集まればやってやるという人が出てくる。みんなで協力してやる。必要なところは市にもお願いしてやる。
- ・二小区は近所の付き合いが残っている地域。素晴らしい地域なると思う。区長が次に引き継ぐ難しさはあると思うが、どこかでうまくいっているうちの地区もできる。取り残されてはいけないという機運も出てくる。
- ・今皆さんに頑張ってもらって若い人に伝えていきたい。無理に押し付けるのではなく、みんなでやっていこう。そういう雰囲気が出てきたらいいなというのが私の思い。  
是非皆さんにも協力していただきたい。

#### 次回日程について

- ・第9回準備会 11月13日(土) 午後6時30分から  
内容: 役員のことについて具体的なことに入っていきたい。興味のある方に呼び掛けていきたい。